



大田区議会は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

# おおた区議会だより

Ota City Assembly News

No.268

令和7年  
8月10日



<https://www.city.ota.tokyo.jp/gikai/>



© 2025 日本デフビーチバレーボール協会

## 主な内容

- 代表質問 …………… 2～5
- 一般質問 …………… 6～10
- 議決結果 …………… 11
- 請願・陳情の審査結果 …………… 12
- 大田区議会議員（議席） …… 14～15

## 今号の表紙

### 大森ふるさとの浜辺公園ビーチバレー場

11月に開催される、東京2025デフリンピック（きこえない・きこえにくい人のためのオリンピック）の会場に選ばれました。

砂の上ならではの、そして2人制ならではの白熱の攻防が、観客の心を熱くします。

おおた区議会だよりは、幅広い世代の方に議会活動を分かりやすくお伝えできるよう、用語解説を掲載したり、図や写真などを活用したりしています。  
また、ユニバーサルデザインに配慮した書体・配色を使用しています。

# 代表質問

記事（写真などを含む）は質問した議員が責任を持って作成しています。  
本会議などの様子を、動画共有サイトYouTubeで配信しています。



代表質問……区の行政全般に関して、会派を代表して行うもの

## 大田区が描く未来像と区民の 幸せの為の取り組みについて



自由民主党大田区議団・  
無所属の会  
馬橋 やすとき



### こども施策について

**Q** 区長が7年5月の記者会見で、子育てNo. 1都市を目指すことを宣言したが、大きな目標をなぜこのタイミングで宣言したのか、また、具体的にどのように実現していくのかについて、区長の見解を伺う。

**A** その背景として区内では子育て世帯の流出が社会的な課題となっており、このことは大田区も例外ではなく、昨今の不動産価格の高騰や、賃貸住宅の賃料上昇により、都区外への流出傾向が顕著になっている。こうした現状を踏まえ、区としては、子育てしやすいまちとしての魅力を一層高める必要性を強く認識し、早い時期に私の決意を区民に伝えるべく、会見を開催し、子育てNo. 1を目指すとして、これを宣言した。大田区で暮らしてよかったと感じてもらえるよう、区民のニーズを的確に捉えながら、子育てNo. 1都市の実現に向けて全力で取り組んでいく。

### 自治体経営と経済対策について

**Q** 物価高騰対策について、区も国の方針を踏まえ、マクロ的

な視点から幅広い対策を講じるべきと考えるが、区の見解を伺う。

**A** 長期化する円安や物価高騰が区民生活や事業活動を直撃している現下の状況において、きめ細かな施策を柔軟かつ機動的に講じることは重要である。区では、低所得者世帯へ速やかに3万円の給付を行ったほか、区立小・中学校の給食費無償化をはじめ、福祉サービス事業者などへの助成事業、プレミアム付デジタル商品券事業への活用など、時期を逸することなく迅速かつ的確に取り組んできた。今後も引き続き、区民生活や区内経済を守るため、真に必要な局面においてはちゅうちょなく対策を講じていく。

### 安心、安全、平和について

**Q** 平和祈念花火については、来場者の安全を考えると、実施時期の見直しを検討することも必要。他自治体では、一定の経済効果を狙っているところも多くある。本区の平和祈念花火について、現状と課題をどう捉え、今後の在り方をどう考えるか、区長の見解を伺う。

**A** 区は8月15日に平和を祈念した花火を打ち上げている。6年は、会場に9万人を超える方にきてもらい、大変多くの方が花火打ち上げを楽しみにしていることを実感した次第である。一方、近年の気候変動の影響もあり、天候不良リスクや夏場の熱中症リスクが年々高まっているなど、花火を取り巻く環境は大きく変化している。区はこうした状況に対応するため、6年度から平

和記念式典などについて、天候に左右されない屋内実施型に変更した。また、7年は、課題となっていた雑踏事故防止などの警備体制強化を目的として、警察・消防など関係機関との調整により、8月28日に花火打ち上げを実施することとした。今後は持続可能で魅力ある花火となるよう、開催時期や費用対効果などの諸課題について様々な観点から検討していく。



### まちづくりについて

**Q** 新空港線の事業費負担の考え方や今後の整備スケジュールについて伺う。

**A** 事業費については、都市鉄道利便増進事業のスキームに基づき、国と地方が3分の1ずつ補助金として負担する。このうち地方負担分は東京都が3割、大田区が7割を負担すること、また区が負担する補助金については、特別区都市計画交付金制度の対象とすることができるよう、東京都と大田区は調整を行うことを4年度に合意している。更に羽田エアポートライン株式会社の負担額のうち、区が出資する金額についても都区財政調整制度<sup>\*</sup>の特別交付金の対象となるよう、東京都と調整を行っている。スケジュールについては、7年4月の構想の認定を受

け、現在、羽田エアポートライン株式会社及び東急電鉄株式会社が協議し、速達性向上計画を作成しており、都及び区と協議した上で、7年8月上旬までに両事業者が連名で、国土交通大臣に申請する予定である。この計画が大臣から認定を受けると、両社が新空港線第一期整備における鉄道事業の許可を受けたものとみなされ、事業化となる。その後、都市計画及び環境影響評価の手續に3年程度を要する見込みで、その後に工事に着手する想定である。構想に記載されている24年3月までの整備の完了と開業を目指し、区も支援していく。今後も引き続き、私が先頭に立ち、関係者としてしっかり連携しながら、新空港線第一期整備の実現に向けて進んでいく。

### 用語解説

#### ※都区財政調整制度

都と特別区及び特別区相互間の財源配分を行う制度である。特別区においては、大都市地域の行政に一体性・統一性を確保するという観点から、本来は市町村が行う事務の一部（例：消防・下水道など）を東京都が行っており、その事務に対する財源を配分する必要がある。また、特別区の区域の行政が大都市地域としての均衡を保つために特別区間の財源を調整する必要がある。このため、都から特別区への特別区交付金により、都区間の財源配分、特別区相互間の財源調整を行っている。

## 区民を守る区の積極的な取り組みを！！



大田区議会公明党  
大橋 たけし



### 物価高騰対策について

**Q** 急激な物価高騰が続いており、**区民全体の家計への負担軽減につながる支援策を早期に検討することを求めるが、区長の見解を伺う。**

**A** 物価高騰による影響が続く中、**区民生活の支援や地域経済の**

活性化は喫緊の課題である。特に食品などの価格高騰が家計に与える影響は非常に大きいものであり区としても深刻に受け止めている。新たな支援策について効果的な取組に向けた検討を庁内に指示をした。今後も区民生活と地域経済に寄り添いながら効果的な施策を実施していく。



食料品も価格高騰

### 災害時、区民の生命と健康を守るための取組について

**Q** **スフィア基準\***を踏まえた避難所環境の早期実現には、具体的な方針と実効性の高い実施計画、調達方法の工夫が必要である。また、**区民の在宅避難への支援強化も必要である。今後どのように区は取り組んでいくのか、区長の見解を求め。**

**A** 区民の安全と尊厳を守るため避難所及び在宅避難者の避難環境の向上に全力で取り組んでいく。

### 東京2025デフリンピックについて

**Q** 会場となる大田区として、**今一度、手話を第一言語としている区民がいることを改めて認識し、大会の周知、機運醸成、選手等受入態勢整備を進めることが大会開催のレガシーにつながると考える。区長**の考えを伺う。

**A** デフリンピック大会を契機にデフスポーツへの関心や認知度を高め、手話を第一言語としている方をはじめ、多様な意思疎通手段を用いて生活している方に対する理解や心のバリアフリーが醸成されるきっかけとなることを期待している。我が国初のデフリンピックが区内で開催される好機を捉え、区民が多く感動とレガシーを享受し、共生社

会実現への着実な一歩となるよう、全庁一丸となって取り組んでいく。

### 平和関連事業について

**Q** **今年は、戦後80年という節目。平和都市を標ぼうする大田区に、8月15日の記念式典の拡充や平和関連の取組を期待する。戦争体験を語り継ぐ「語り部」の取組は世界に向けても平和につながる大きな取組となるが区長の見解を伺う。**

**A** 今年先の大戦終結と広島・長崎の被爆から80年の節目の年、平和を希求する姿勢を区内外へ発信し、次世代に平和の大切さを伝えていくことが重要と考えている。語り部活動は大変意義のある取組である。より多くの区民が平和の尊さを確かめ合えるよう取り組んでいく。

### 産業支援について

**Q** **米国関税措置の状況を踏まえ、区内産業を支えるため、捉えた状況や情報をもとに、即支援への対応ができるように取組を要望するが、区長の考えを求め。**

**A** 区の産業特性を踏まえ、社会経済状況の変化に柔軟かつ即時に支援展開できる体制整備に努めていく。

### 駅周辺まちづくりについて

**Q** **蒲田・大森・平和島のまちづくりについて、しっかりとしたコンセプトを持って、進化したまちへと取り組むべきと考えるが、区長**の考えを伺う。

**A** 魅力あふれる蒲田となっていくよう、私が先頭に立ちまちづくりを進めていく。また、大森地域の歴史・文化を未来へ継承しつつ再構築・活性化に向けた取組を着実に推進していく。さらに、平和島は鉄道事業者などとの連携を基盤に、地域全体の魅力を高め、安全で住みやすく、訪れやすいエリアの実現、臨海部と内陸部をつなぐまちづくり

に取り組んでいく。

## 環境対策について

**Q** 環境問題に関する取組状況や達成状況などについて、区民に分かりやすく発信していくことが重要と思う。区長の見解を伺う。

**A** 環境施策の取組状況などの見える化・分かる化を図るよう、DXを駆使しながら取り組んでいく。

## 英語教育について

**Q** 区立小中学校全児童・生徒が意欲的に英語を学べるよう将来のビジョンと計画を立てて進めていくことを望むが、教育長の答弁を求める。

**A** 国際社会の中で英語学習環境の全校展開を目指し、英会話中心の授業を充実させていく。

## 大田区子ども読書活動推進計画について

**Q** 子どもたちの健全な成長と学びを支える重要な計画である。学校内の連携や司書の専門性が生かされていないケースもあると聞く。今後の読書活動の推進について教育長の見解を求める。

**A** 読書学習司書や司書教諭、その他の全ての教員が連携し、学校において子どもたちが本を手にする機会を増やし、子どもたちの読書意欲を高めていく。

### 用語解説

#### ※スフィア基準

「人道憲章と人道支援における最低基準（通称：スフィア基準）」は、紛争や災害の緊急時において被害者・被災者が尊厳のある生活を送ることを目的に定められた国際基準である。支援を受ける人々の苦痛を軽減するために実行可能なあらゆる手段が尽くされ、人間としての尊厳をもって生活を送るために役立っている。



1人1人が自立し、家族を支え合い、人間らしく生きて死ぬために

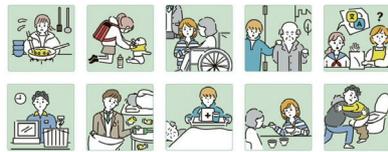
つばさ大田区議団  
伊藤 つばさ




## ヤングケアラー※への支援について

**Q** 家族の介護だけではなく、家事や兄弟の面倒を見ることもヤングケアラーの対象になっている。それらの経験から学びや成長につながることもあるため、実態調査等を実施し、あえて自覚させる必要はない。人としての成長を促すような視点を持って支援しているのか。

**A** こどもに寄り添い、意思を尊重しながら、こども自身の生活や将来の選択肢を増やし、健やかな成長につなげていく。



出典「ヤングケアラーについて」（こども家庭庁HP）  
(<http://www.cfa.go.jp/policies/young-carer/>) を加工して作成  
ヤングケアラーの対象者（例）

## 国産米と米農家を守ってください

**Q** 国の減反政策が原因で米不足と米価高騰に。泉大津市では協定を結んだ自治体の農家から直接米を購入し、給食や妊婦に提供している。米に対する区長の考えは。

**A** 政府による安定供給に向けた対策が進められており、1日も早く価格や供給量について、適切な調整が行われることが望ましい。

## 現金の給付事業の是非について

**Q** 給付事業が常態化しているが、給付の際には事務経費や人的資源が割かれてしまい効率が悪い。給付よりも無駄のない減税を求める声も高まっている。区長の意見は。

**A** 給付事業は直接的な支援を必要とする方に迅速かつ確実に資金を届けることができる。

## 日本語レベルの低下を防ぐために

**Q** 外国人とのコミュニケーションにおいて、やさしい日本語の使用が有効とされているが、普及拡大すれば、日本語レベルの低下を招く懸念がある。行政発信における言語の在り方に関して区長の考えは。

**A** 正確な日本語表記を基本とし、目的や対象、重要性に応じて適切な言語による発信に努める。

## 新型コロナ対策の振返りについて

**Q** 過度に不安をあおりすぎてこの数年間で失ったものも非常に大きい。人はいつか死ぬ。長く生きることよりも、生きている間に何をするかに重きを置く人もいる。マスクの強制や消毒徹底はデメリットもある。当時のコロナ対策の評価は。

**A** 国からの要請に応じ、区民の命と安全を守るために、適時適切な対応を行ってきたものと評価。

**Q** 子どもは重症化リスクが低いと言われていたが、様々な体験機会が奪われ、大人たちが普通に会食をしている間も孤食・黙食を強いられたのは酷い。過剰な感染症対策による子どもたちへの影響は。

**A** こどもたちも感染防止の必要性をよく理解し、危機を乗り越え、学びを継続し成長した。

### 用語解説

#### ※ヤングケアラー

本来、大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っていることも、若者のこと。責任や負担の重さにより、学業や友人関係などに影響が出てしまうことがある。



## 物価高騰から区民の命・暮らし・営業を守る区政へ



日本共産党大田区議団  
杉山 こういち



### 物価高騰から区民の命と暮らしと営業を守る施策について

**Q** 区民の暮らしを第一に考えた区政運営ならば「物価高騰からどうやって区民の暮らしを守るか」国に対して消費税を緊急に5%に減税するよう区から求めるべき。

**A** 国に対して消費税の減税を緊急に求める考えはない。

**Q** 東京都が夏期4か月間の水道基本料金を無償とする支援を始める中、都の施策に上乗せするなど区独自で水道光熱費の支援策を。

**A** 区単独で水道光熱費の支援を行う考えはない。

**Q** 大田区独自の、区内中小事業者への賃上げ支援策を行い、都にも支援を求めるべき。また、区内事業者の賃上げ状況を調査すべき。

**A** 賃上げに特化した区独自の支援策は考えていない。



資材高騰で苦境を強いられる町工場

**Q** 米の高騰を踏まえ、米不足で困っている区民へ、他自治体のように国の物価高騰対応交付金を活用して、お米券の配布を。

**A** 区としては、お米券を配布する考えはない。

**Q** 米国関税問題に関して、P i Oフロントに具体的な相談はないようだが、特に自動車関連産業はその影響が大きいと考える。区内事業者への継続的な追跡調査を行い

影響が及ぶ前に対策を取ること、相談窓口を継続しこれまでの施策の延長線にとられない思い切った施策に取り組むことを求める。

**A** 地域経済の持続的な発展に向けて柔軟に対応していく。

### 猛暑から区民の命と健康を守る対策について

**Q** 省エネエアコンを自己負担なく購入・設置できる助成を行うこと、また、故障しているエアコンの修理代についても助成すべき。

**A** エアコン購入、設置、修理助成制度を導入する考えはない。

### 大規模開発推進の区政を改め住民本位のまちづくりを進めることについて

**Q** 駅前再開発について、全ての人の声が生かされ、住み続けられる、店舗営業が継続できるまちづくりをすることを求める。

**A** 持続的な価値を高め発展させるよう着実に取り組んでいく。



## もっと区民の声を活かす区政へ。誰一人取り残さない区政へ。



立憲民主党大田区議団  
平野 春望



**Q** 戦後80年、大田区平和都市宣言から41年。区長の平和への思いを伺う。

**A** 私は戦争の悲惨さや平和の尊さ・大切さを次世代へとしっかりと伝えていくことが重要であると考えており、区の平和への思いをより一層、多様な年代に向けて発信していくことが責務であると考えている。



大田区平和都市宣言シンボルマークと花火

**Q** 蒲田のまちづくりと新空港線の計画について、住民主体で住民の声を取り入れたまちづくりについて、区長の見解を伺う。

**A** 今後も私が先頭に立ち、区民の意見を丁寧に伺いながら、新空港線整備と蒲田駅周辺のまちづくりを着実に進めていく。

### インクルーシブ教育について

**Q** 特別支援教育推進計画について、教育長の思いを伺う。

**A** 大田区特別支援教育推進計画は、インクルーシブ教育システムの構築に向けて、施策の方向性を体系的に整理することで、特別支援教育を更に充実させるために策定した。

### 議会ライブ配信のご案内

本会議及び予算・決算特別委員会の様子をYouTube大田区議会チャンネルでライブ配信しています。

詳細は、ホームページをご確認ください。

議会中継に関する情報は、こちら



### 本会議録速報版のご案内

本会議録が発行されるまでの期間、速報版を掲載しています。

なお、実際の本会議録と一部異なる場合があります。

簡単アクセス!



# 一般質問

記事は質問した議員が責任を持って作成しています。

本会議などの様子を、動画共有サイトYouTubeで配信しています。



一般質問……区の行政全般に関して、各議員が行うもの



大田区議会公明党  
榎 しんいち



## 自転車駐車場の思いやりゾーンとヘルメット着用について

**Q** 配慮が必要な自転車利用者が安全・安心に利用できる思いやりゾーンの拡大に向けた本区の検討状況について伺う。

**A** 現在一部の区営自転車駐車場において試行的に実施中。今後は利用実態や周辺地域の特性、混雑状況などを見極めた上で、段階的に導入できるよう検討していく。

**Q** 思いやりゾーンを利用するに当たり、ヘルメットの着用を条件とする事で、安全性や着用率も向上すると考える。区の見解を伺う。

**A** 思いやりゾーンの利用に際し、ヘルメット着用を努力義務として着用率の向上につなげていきたいと考えている。

**Q** 抽選申込用紙に努力義務になった経緯やチェック項目を設け、意識改革に取り組んでいただきたいと考えるが、区の見解を伺う。

**A** 意思確認は、着用推進の一つの方法と考えている。次回の抽選において、ヘルメット着用を促すことを含め周知を図っていく。

## 子どもの権利擁護と児童館の役割強化について

**Q** 子どもの権利条約の理念に準ずる支援に繋げるため、表に

出てこない子どもたちの声をどのようにして拾い、支援していくつもりか伺う。

**A** 子どもの声を聞き、意見を尊重する、子どもアドボカシー<sup>\*</sup>に関する研修や、区の心理職などが子どもの意見を聞き、子どもたちの最善の利益に資する支援を行い、健やかな育ちを支えていく。

**Q** 今後、児童館のソーシャルワーク機能を高めるため、職員のスキルアップを目的とした人材育成も必要と考える。区の見解を伺う。

**A** 運営委託を行っている児童館には、ともにスキル向上を図る機会を設けることで、福祉的課題を抱える子どもへの対応力強化につなげていく。今後も、ソーシャルワーク機能の向上に取り組んでいく。

### 用語解説

<sup>\*</sup>子どもアドボカシー

アドボカシーという言葉は、「社会的に弱い立場にある方の権利を守るため、(支援者が)代弁する」という意味合いで使われており、支援者は「アドボケイト」と呼ばれる。子どもアドボカシーとは、大人や社会に対して声を上げにくい子どもや、声が拾われにくい子どものためのアドボカシーである。



大田区議会公明党  
あまの 雄太



## 教育について

**Q** 始業前の居場所づくりについて、どのような調査を行った

のか、また、モデル校での実施以降、どのようなスケジュールや考え方で全校展開を図っていく見通しか伺う。

**A** 区内各小学校に対し、通常の開門時間前の開放状況や実施の頻度、運営主体と活動内容について調査を実施した。今後予定しているモデル実施では、担い手として、大田区シルバー人材センターを活用し、安定的かつ継続的に取り組むことが可能か、子どもたちが安全・安心に始業前の時間を過ごすためには何が必要かといった点を検証していきたいと考えている。8年度からの全校展開を念頭に置きながら、朝の居場所づくりに取り組んでいく。

**Q** タブレット端末選定では軽量化することを要望していたが、本区が次期採用するタブレット端末を選定するポイントについて伺う。

**A** 新たに導入するタブレット端末については、カバー付きで約1.2kg、更にキーボードを取り外すと1kgを切る仕様とし、軽量化を実現した。

**Q** 様々な学習コンテンツの、より一層の活用を要望する。

**A** 学校からの意見も踏まえ、学習用コンテンツを一層効果的に活用していく。

## 認知症施策について

**Q** 今後、どのように認知症施策に取り組んでいくのか、区の見解を伺う。

**A** 認知症に対する区民の認識などの把握もしっかりと行っていく。認知症当事者とその家族や認

知症の人と日常生活において密接な関係を有する方から意見を聴く予定である。

**Q** 今後のチームオレンジ\*間の連携や区の支援について、見解を伺う。

**A** チームの懇談会を7年度中に新たに開催する予定である。

### 用語解説

#### ※チームオレンジ

認知症と思われる初期の段階から、心理面・生活面の支援をする仕組み。区市町村がコーディネーターを配置し、地域において把握した認知症の方の悩みや家族の身近な生活支援ニーズなどと認知症サポーター（基本となる認知症サポーター養成講座に加え、ステップアップ講座を受講した者）を中心とした支援者をつなぐ。



立憲民主党大田区議団  
庄嶋 孝広



**Q** 大森駅西口都市計画で失われる商業地に代わる、にぎわい創出の場とされる大森駅西口広場。その空間デザイン方針の策定にあたり、地域住民や大森に思いのある人たちが集う対話の場が有効と考える。

**A** 区民主体の地域活動や交流・対話から生まれる広場の活用イメージなどの意見も伺っていく。

**Q** 被爆80年。日本被団協のノーベル平和賞受賞では、被爆者の経験を次の世代が語り継ぐ活動も評価された。被爆の実相や核兵器の脅威を学習する機会をどう設けるか。

**A** 8年度は、区立中学校7校が修学旅行で広島県や長崎県を訪れる予定である。小中学校の社会科学の授業では、放射線の影響や核兵器の脅威についても学んでいる。



つばさ大田区議団  
松原 元



### 大田区の子育て支援について

**Q** 利用者に寄り添った情報を開示し、大田区産後ケア事業を、負担なく利用できる環境を整えていただきたいが、区の見解を伺う。

**A** 区ホームページにおける事業内容の周知については、施設利用に関する情報などをより分かりやすく確認できるよう、利用者目線に立ち、更新を図っていく。今後も利用者からの意見などを参考にしながら、検討を重ね、利便性を踏まえた環境整備にも取り組んでいく。

**Q** 大田区内外の人材を掘り起こすことによって、産後ドゥーラ\*登録者数を増やし、にこにこサポートをより安定的に区民が利用できるように、環境を整えてもらいたい。

**A** 利用者からは、「予約が取りづらい」との意見もあり、区はサービスの供給体制の強化に取り組んできた。引き続き、安心して子育てできる環境を整えていく。

### 用語解説

#### ※産後ドゥーラ

ドゥーラとは、ギリシャ語で「他の女性を支援する、経験豊かな女性」を意味し、産前産後の女性特有のニーズに応え、心身の安定やスムーズな育児生活への導入をサポートする人を指す。



日本維新の会大田区議団  
宮崎 かずま



### 外国人による国民健康保険料未払いについて

**Q** 区における外国人の国保料の収納率は。また外国人の未済

額による区財政への評価を伺う。

**A** 外国人被保険者の収入未済の割合や金額は把握していない。徴収が滞れば、国保事業の維持・運営に支障が出るほか、一般会計からの繰入金増加に繋がる可能性もある。

**Q** 出産育児一時金に関して調査会社に依頼した実績を伺う。

**A** 海外療養費は4年度16件、5年度4件、6年度5件である。

**Q** 議会答弁であった審査の厳格化についての進捗を伺う。

**A** 審査を厳格に行う旨の趣旨を含んだ案内文書を掲出するなど、周知・啓発に取り組んでいる。

### 区の公共施設の使用基準について

**Q** 区の公共施設にて営利目的利用と推察される事例がある。怪しいビジネス・特殊詐欺が大田区から生じることも否定できない。

**A** 施設利用のルール等について、利用者への周知に努めるとともに、適切な使用に向けて施設運営に取り組んでいく。



大田区議会  
都民ファーストの会・  
国民民主党  
とく山 れいこ



### 大田市場周辺の交通課題について

**Q** シェアサイクルの取組と展望について区の見解を伺う。

**A** 6年度には都立東海ふ頭公園と大田市場正門前民間用地にポートを設置。7年度には、まもなく大田市場の花き部に新たにポートを設置予定。可能な限り効果的な場所へのポート設置を進めていく。

### シェアサイクルについて

**Q** 株式会社ドコモ・バイクシェアの撤退や事業縮小があった場合の区の見解を伺う。

**A** 株式会社ドコモ・バイクシェアには、事業の継続について確認している。今後も他区や東京都とも事業の持続的・安定的な運用を図るために連携していく。

### こどもの相談窓口の在り方について

**Q** こどもの心のケアという観点から、現在どのような相談支援体制を整えているのか伺う。

**A** 6年10月から、各地域庁舎に、こどもと家庭の相談窓口機能として、こども家庭センターを設置。より身近な場所で相談が受けられる体制を拡充している。

### 地域交流による好循環のまちづくりについて

**Q** 大田区では、商店街の担い手の発掘や商店街人材育成のために、どのような方針で取り組んでいるのか。

**A** 具体的には、若手商人ネットワーク事業を実施している。今後も若手事業者が連携し、活気ある商店街を形成していく活動を支援していく。



自由民主党大田区議団・無所属の会  
**高瀬 三徳**



### 思い出づくり事業について

**Q** 7年度に二十歳を迎える当時区立中学校3年生だった生徒に対する事業の実施について、区の思いや期待する効果について伺う。

**A** おおた20歳の絆応援チケット事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの活動制限を受けたという困難を乗り越えた経験を将来につなげ、また新たな絆をつくる機会にしてほしいという強い思いのほか、これからも大田区に

住み続けてほしいという思いを含んでいる。

### 区立公園での花火試行について

**Q** 区で検討してきた内容について、現状を伺う。

**A** 今回試行実施する公園は、広さや隣接する住宅との距離、普段から寄せられている意見などを踏まえて選定した。実施期間は8月1日から17日までとするほか、一定の条件を設ける予定である。

### 大森駅西口周辺のまちづくりについて

**Q** 安全・安心な交通運用、にぎわいを生む広場運用を目指し、どのような視点で進めていくのか。

**A** 現在用地取得の準備を進めている。7年度からは西口広場デザイン方針などの検討を開始した。交通戦略では東西連絡通路の整備、バリアフリーな歩行者空間やイベントなどが実施可能なスペースの創出などについて検討の深度化を図る。

### 定額減税に絡む対応について

**Q** 物価高騰対策に関する定額減税補正給付の確実な実施は自治体の重要な役割である。改めて事業内容と効果の見込みについて伺う。

**A** 6年度の支給事業についてはできる限り速やかに減税の効果を国民に実感してもらうという政府方針に基づき実施した。国民所得の下支えといった当初想定されていた効果が、今般対象となる方にも一定程度届けられるものと考えている。

### 契約に関することについて

**Q** 区が行う工事や委託などの契約の適正化について伺う。

**A** 契約の適正化に向けての取組として公契約条例の制定を含め、私（区長）のリーダーシップのもと、事業者・従業員の意見を踏まえて契約の適正化に向けてしっかり

と検討する。



自由民主党大田区議団・無所属の会  
**中坪 悦子**



### カムカム新蒲田※裏庭活用について

**Q** 土壌の状態が良くないことが分かり、花や樹木を植えても枯れてしまう状況だが、区の考えはいかがか。

**A** 多くの施設利用者から駐輪場の拡充などの要望もある現状や課題を捉え、施設を利用することもたちや地域の方が緑に触れられるような空間創出なども含め、より有用な活用に向けて検討していく。

### 区施設の交通利便性向上について

**Q** カムカム新蒲田是最寄りの蒲田駅から遠く、シェアサイクルスポットもない。対策が必要であると考えがいかがか。

**A** 一時的に来場者が増えるイベントなどの際に、当該敷地の一部を臨時駐車場とし、開放している。区でも、公共施設などの敷地に余裕がある場合、積極的にサイクルポートの設置を進めていく。

### デジタルサイネージ活用について

**Q** 商店街と連携した区の活用方針について伺う。

**A** 蒲田西口商店街振興組合が設置したデジタルサイネージは、放映の3分の2程度を行政や地域情報の発信に努めるとして認められている。商店街情報、地域情報、区政情報、自転車盗難防止、特殊詐欺防止、熱中症予防などが放映されており、区民だけでなく、来街する区外の方にも、魅力あるまちと感じてもらえるよう、積極的に活用していく。

## ポイント還元事業について

**Q** 区内事業者が約2%の手数料を支払ってでも継続するに価する訴求ポイントについて伺う。

**A** ポイント還元事業は、消費者にとって魅力的なインセンティブとなり、区内の中小個店にとって手数料を上回る効果として実感してもらえることを期待している。

## ごみ集積所問題について

**Q** 集積所の適正な運用に向けた区の考えを伺う。

**A** 区内に3万2,000か所以上ある集積所においては、必ずしも適正に管理されていない集積所が複数あることは把握している。資源環境部が総力で対応しており、当部だけではなく、関連する部局と組織横断的に、責任を持って取り組む。

### 用語解説

#### ※カムカム新蒲田

旧大田区民センター跡地に、誰もが健やかに生き生きと活動でき、学びを通じて生まれる交流から、にぎわいをもたらす地域コミュニティの拠点として整備した、中高生ひろば、地域包括支援センター、シニアステーション、区民活動施設、子育てひろば、保育園を併設した大型複合施設のこと。



自由民主党大田区議団・  
無所属の会  
北村 やよい

## 伝統工芸（文化行政）の発展について

**Q** 伝統工芸発展の会などにどうサポートするか発展させるか。

**A** 区では文化資源を守り、次世代へ引き継ぎ、現代に生かすと位置付けている。区民の興味・関心を喚起するため、伝統工芸士の認定制度や、大田区伝統工芸展などを開催。同団体と連携・協力し、今後も連携を図る。東京都・他部局と調

整し、より普及・啓発を図りイベントなどへの出店の機会を増やす。

## 災害時のエッセンシャルワーカー世帯への対応について

**Q** 区立保育園を中心に32施設で福祉避難所として整備済み、災害時の受け入れ態勢を伺う。

**A** 保育に関する知識・経験のある職員が対応に当たることによって個別のニーズの支援につなげたい。受入れ方針は、対象は行政サービス職員のこどもも想定。また、運営業務委託園への支援体制を確実に整備するため、運営事業者と協定書を締結、区との役割分担などを明確にした。

**Q** 応急保育所の実行性のある運用に向けた取組について伺う。

**A** ソフトとハード両面が必要。応急保育所には保存水や非常食、衛生用品などを備蓄済み。ソフト面は開設訓練を実施。7年4月には対応マニュアルを改訂し、共有している。

## 図書館の在り方について

**Q** 現時点の中央図書館の在り方について、考えを伺う。

**A** 今後は、図書館DX<sup>\*</sup>による機能強化とともに、地域コミュニティの場として整備することも重要である。平成29年度に今後のあり方についての報告書を作成した。中央図書館である大田図書館を含め、今後の施設更新や未来を見据えた図書館サービスの在り方に関する検討が必要である。

**Q** 積層書庫の機能更新は建て替え計画にどう影響するか。

**A** 搬送拠点の機能は欠かせない。蔵書を増やすことは機能充実につながる。大田図書館に蔵書を残し、中央図書館機能だけを別地域に移すことは可能。時代のニーズを捉え、今後議論が必要であると考え。

## 用語解説

### ※図書館DX

利用者の利便性向上や業務効率化を実現させるため、区立図書館では、2年3月からICタグを利用した自動貸出サービスなどを提供してきた。引き続き、非来館型である電子書籍貸出サービスの利用拡大に向けての取組や、新たに座席管理システム、かじりカードのスマートフォン表示などの実現を目指している。



立憲民主党大田区議団  
小川 あずさ

**Q** 児童養護施設を退所した子どもへの支援について伺う。

**A** 居住先確保や就職支援を退所前から行っており、今後東京都とも連携し調整を進めていく。

**Q** エデュケーション・アシスタント<sup>\*</sup>の実際の取組と浮かび上がった課題を伺う。

**A** 全小学校一名ずつ四月から配置。低学年児童に学習面や生活面でよりきめ細やかな指導ができる。一方で、関わり方は試行錯誤している段階でもある。今後も教育委員会は効果的活用を一層推進する。

**Q** スピーキングテストの前回試験のトラブルから試験再考を要望いただきたく区の考えを伺う。

**A** 東京都教育委員会には適切な実施を引き続き要請していく。

## 用語解説

### ※エデュケーション・アシスタント

児童一人ひとりに合わせた学習サポートを行ったり、登下校や休み時間中の児童の様子を見守るなど、児童が安心して学校生活を送れるよう支えるスタッフのこと。





今後の重要課題となる外国籍  
児童・生徒の生活言語について

**Q** 外国籍児童・生徒の生活言語の学習について、学校ではどのような指導をしているか、伺う。

**A** 本区における日本語特別指導は、日本語指導の専門的なノウハウを持つ事業者へ委託して実施している。指導内容は、日常生活で必要な日本語能力、いわゆる生活言語能力を高める指導や、こども一人ひとりの実態に応じた教科への適応指導などとしている。生活言語能力を高める指導では、挨拶や自己紹介、質問の仕方などの話し言葉の基礎を指導している。また、日本の生活習慣や学校生活、文化・行事などについて理解を深められるようにしている。更に、生活言語能力を高める指導を通して、地震や火事などの緊急時に対応できるような指導をしている。



補聴器購入助成の拡充について

**Q** 東京都は上限額を住民税非課税144900円、課税者72450円に引き上げた。せめて35000円を他区並みにまで拡充することを求める。

**A** 6年度の助成実績人数は前年度比約160%。現時点では更に引き上げる考えはない。

**Q** ケア労働の担い手の定着や人材確保のために、他区のように東京都の補助事業を調査し、活用して福祉の向上を図るべき。

**A** 都と連携を図り、人材確保、定着、質の向上に努めていく。

区の委託職員の待遇改善のための公契約条例制度について

**Q** 民間委託で働く学童保育施設職員は低賃金で身分が不安定である。区として学童保育従事者に対する調査を行うことを求める。

**A** 区では、事業者を実施報告を求め、確認を行っており、調査を行う予定はない。

地域住民が利用しやすい大森西  
地域力推進センターについて

**Q** 体育室の利用料金が16200円と高額であり、区民が利用できない場所になりつつある。こらぼの成り立ちから地域住民とともに課題を解決する努力をすべきである。

**A** 青少年対策地区委員会や障がい者団体など公益的な団体や活動の利用者支援、利用促進などの観点から減免や、1枠当たりの時間設定の見直しなどを行い、使用料を抑える工夫なども講じている。



インクルーシブ保育について

**Q** 本区では昭和51年から区立保育園での障がい児の受入れを行っており、多くの実績がある。私立園における医療的ケア児の入園許可に踏み切る時期ではないか。

**A** これまで区では建物の改築と併せて環境を整えてきたが、今後も、医療的ケア児の受入れ体制の充実を図っていく。

**Q** 医療的ケア児も、ゼロ歳から保育園へ入園する選択肢が得られるよう、環境づくりが必要。

**A** 利用者のニーズを踏まえながら、適切に進めていく。

幼児期の探究活動推進について

**Q** すくわくプログラム推進事業の一環として、外部の運動専門家へ委託し定期的に保育園等に派遣する体制を整備、構築を。

**A** 好事例を共有するなど、こどもの育ちに資する探究活動の拡充を後押ししていく。



物価高騰対策について

**Q** 高額な社会保険料、長期にわたる物価高騰により区民の皆様は苦しんでいる。一方で税収は増え続けており、物価高騰に苦しむ区民の皆様の生活を支える財政運営を模索すべきである。区民への物価高騰対策にもなり、持続可能な自治体運営のための行財政改革も促進する区民税の減税を求める。

**A** 区独自の減税を行う考えはない。生活支援策を着実に実施し中長期的な視点を持ち区民の暮らしを支える行財政運営を行っていく。

再生可能エネルギーについて

**Q** 太陽光発電の普及は環境政策として重要な柱である一方、太陽光パネルの廃棄の際の諸課題や、まちの景観を乱すとの懸念から景観形成に与える影響等、様々な不安要素も存在する。行政として責任ある対応が求められるが見解を伺う。

**A** 適切な廃棄やリユース・リサイクル促進のための資源エネルギー庁の周知活動と連携していく。街の景観との調和は色彩ガイドラインで屋根の形状との一体感の確保等、良好な景観形成に努めている。



今回審議した議案の結果は以下のとおりです。

○：賛成 ×：反対 棄：棄権 欠：欠席

種別	件名	会派名称 (所属議員数)									結果	
		※ 自 (14)	公 (11)	つ (6)	共 (5)	立 (4)	維 (3)	都 (2)	フェ (1)	れ (1)		子 (1)
令和7年度補正予算	一般会計 (第2次)	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可決
条例の一部改正	大田区特別区税条例	○ 欠1	○	○	×	○	○	○	×	○	○	可決
	大田区コミュニティセンター羽田旭条例	○ 欠1	○	○	×	○	○	○	×	○	○	可決
	大田区立障がい者総合サポートセンター条例	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	大田区保育の必要性の認定等に関する条例	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可決
	大田区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可決
	大田区家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可決
契約の締結	京和橋落橋防止対策工事 (その3) 請負契約	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	大田区池上会館特定天井及び内部改修その他工事請負契約	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	大田区宮大森東一丁目住宅及び大田区立大森東福祉園外壁改修その他工事請負契約	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	大田区池上会館特定天井及び内部改修その他電気設備工事請負契約	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
区の義務に属する損害賠償の額の決定		○ 欠1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
区の義務に属する損害賠償の額の決定		○ 欠1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
町区域の変更		○ 欠1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
同意	副区長の選任 (川野 正博)	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	棄	○	○	同意
	副区長の選任 (玉川 一二)	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	棄	○	○	同意
	監査委員の選任 (後藤 清)	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	棄	○	○	同意
議員の派遣	秋田県美郷町議会親善訪問	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	セーラム市親善訪問調査	○ 欠1	○	○	×	○	○	○	棄	○	○	可決
	北京市朝陽区・大連市親善訪問	○ 欠1	○	○	×	○	○	○	棄	○	○	可決
	区政施策調査	○ 欠1	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決

※ 議長は表決に加わりません。

報告

- 令和6年度大田区繰越明許費繰越計算書
- 大田区土地開発公社の経営状況に関する書類の提出
- 一般財団法人国際都市おおた協会の経営状況に関する書類の提出
- 公益財団法人大田区スポーツ協会の経営状況に関する書類の提出
- 公益財団法人大田区文化振興協会の経営状況に関する書類の提出
- 公益財団法人立憲民主党大田区議団の経営状況に関する書類の提出
- 株式会社大田まちづくり公社の経営状況に関する書類の提出
- 羽田エアポートライン株式会社の経営状況に関する書類の提出
- 一般財団法人大田区環境公社の経営状況に関する書類の提出
- 仮称大田区大森西二丁目複合施設新築その他機械設備工事 (I期) 請負契約の専決処分
- 区の義務に属する損害賠償額決定に係る専決処分

会派名称	自	…自由民主党大田区議団・無所属の会	立	…立憲民主党大田区議団	れ	…OTAれいわ新選組
	公	…大田区議会公明党	維	…日本維新の会大田区議団	子	…大田子ども防炎会
	つ	…つばさ大田区議団	都	…大田区議会 都民ファーストの会・国民民主党		
	共	…日本共産党大田区議団	フェ	…フェアな民主主義		



今定例会での請願・陳情の審査結果は以下のとおりです。

※引き続き継続審査としたものを除く。

付託委員会	件名	審査結果
総務財政委員会	生存証明に関する陳情	不採択
健康福祉委員会	高齢者補聴器購入費助成の拡充を求める陳情	不採択
こども文教委員会	大森東中学校による砂埃（砂塵・粉塵）の防止策に関する陳情	不採択
	館山さざなみ学校体育館のエアコンの設置に関する陳情	継続
議会運営委員会	区議会議員の出席率の公開に関する陳情	不採択
	政務活動費に関する所得税法違反の懸念と議会の対応を求める陳情	継続
交通政策調査特別委員会	第二段階を含む新空港線（蒲蒲線）整備計画を区民に分りやすく説明する事を求める陳情	不採択
	新空港線の予算の大部分を大田区の独自財源を使わないことの周知を求める陳情	不採択
	新空港線を進めるため都市計画交付金対象事業の変更要望の意見書の提出を求める陳情	不採択
	新空港線（蒲蒲線）計画の内容を区民に事実に基づき知らせることを求める陳情	不採択
羽田空港対策特別委員会	羽田の跡地が憩いの公園となるよう新飛行ルート・B滑走路西向き離陸中止を願う陳情	不採択

### 大田区議会 会議録のご案内

大田区議会の会議録は大田区立図書館、区政情報コーナー（区役所本庁舎2階）のほか、ホームページでご覧いただけます。

簡単アクセス!



### 議会の傍聴に関するご案内

#### ●音声認識文字変換ツール（UDトーク）

本会議及び予算・決算特別委員会での発言内容を文字化し、議場傍聴席に設置した液晶モニターにリアルタイムで表示します。



音声認識文字変換ツール（UDトーク）

#### ●手話通訳

発言内容を手話でお伝えします。本会議及び委員会で利用できます。傍聴希望日の7日前までに問合せ先へお申し出ください。

#### ●FM補聴

FM補聴システムを通じて聞こえる音声によって、発言内容が聞き取りやすくなります。本会議及び委員会で利用できます。傍聴の際にお申し出ください。

#### ●親子傍聴席

防音設備内で、お子様と一緒に安心して傍聴できます。



親子傍聴席

#### ●車いす用スペース

車いすに乗ったまま傍聴ができるスペースを用意しています。



車いす用スペース

簡単アクセス!



問合せ先 議会事務局 FAX 03-5744-1541 電話 03-5744-1474

# 令和7年度一般会計補正予算（第2次）を可決

令和7年度一般会計第2次補正予算は、以下の視点を踏まえて計上されました。

- 子育て教育施策の充実に資する予算
  - 第1次補正予算編成後に生じた状況の変化に速やかに対応するための予算
- 今回の補正予算の規模は、20億8,845万9千円の増額となりました。  
計上された主な事業は、以下のとおりです。



## 一般会計補正予算（第2次）の主な事業

### 福祉費

- 定額減税補足給付金（調整給付）給付事業 15億6,975万9千円
- 定額減税補足給付金（不足額給付）に係る対象者数の増

### 土木費

- 合流改善貯留施設整備 1億3,153万2千円
- 貯留管設置工事に係る経費の増

### 教育費

- おおた20歳の絆応援チケットー区立中学校卒業生のための新たな絆づくりー 6,576万6千円
- おおた20歳の絆応援チケットー区立中学校卒業生のための新たな絆づくりー事業に係る経費

## 議会防災訓練を実施しました

第2回定例会第1日の6月18日（水）、本会議終了後に議会防災訓練を実施しました。

訓練は、①身の安全を守ること、②非常時の議事の進行確認、③議会災害対策本部の設置運営訓練の3点を目的としました。議場での訓練では、本会議で議員が登壇中に、東京湾北部を震源とする震度6強の地震

が発生した想定で行いました。

また、議会災害対策本部設置運営訓練では、議員が区役所に登庁できない状況を想定して、本部構成員がWEB会議ツールを活用し、各会派内の安否確認や被害状況の報告後、議会災害対策本部として対応すべき事項を確認しました。



議場での訓練の様子



議会災害対策本部設置運営訓練の様子

## セーラム市民訪問団が大田区議会を表敬訪問

令和7年7月4日（金）、大田区と姉妹都市であるアメリカ合衆国マサチューセッツ州セーラム市から、17名の市民訪問団が大田区議会を表敬訪問し、鈴木隆之議長をはじめとする大田区議会議員が歓迎しました。

議長は歓迎の意を表すとともに、今回の交流は大田区議会にとって貴重な機会であり、訪問団にとっても実りあるものとなることを願っていると伝えました。訪問団からは今回の訪問で、特に学校での子どもたちとのふれあいを楽しみにしているといった発言があり、交流を深めるひとときとなりました。



セーラム市民訪問団と大田区議会議場にて

# 大田区議会議員



松原 秀典 (自民・無所属) 高瀬 三徳 (自民・無所属) 大森 昭彦 (自民・無所属) しおの目まさき (自民・無所属)



松本 洋之 (公明) 岡元 由美 (公明)



押見 隆太 (自民・無所属) 鈴木 隆之 (自民・無所属) 伊佐治 剛 (自民・無所属) 馬橋 やすとき (自民・無所属) えびさわ 圭介 (自民・無所属)



大橋 たけし (公明) 小峰 よしえ (公明)



高山 雄一 (自民・無所属) 中坪 悦子 (自民・無所属) 北村 やよい (自民・無所属) 天坂 大介 (自民・無所属) 柿島 耕平 (自民・無所属)



末安 広明 (公明) 鈴木 ゆみ (公明)

	会派名称	電話番号
自民・無所属	自由民主党大田区議団・無所属の会	03-5744-1480
公明	大田区議会公明党	03-5744-1488
つばさ	つばさ大田区議団	03-5744-1718
共産	日本共産党大田区議団	03-5744-1477
立憲	立憲民主党大田区議団	03-5744-1475
維新	日本維新の会大田区議団	03-5744-1155
都ファ・国民	大田区議会 都民ファーストの会・国民民主党	03-5744-1380
フェア民	フェアな民主主義	03-5744-1469
れ新	OTAれいわ新選組	03-5744-1675
子ども防災	大田子ども防災会	03-5744-1717



杉山 かずのり (子ども防災) 寺下 なおみ (都ファ・国民)

# (議席)

令和7年7月1日現在 定数：50人 現員：48人



## 大田区議会ガイドブックのご案内

若い世代の方にも区議会の活動を知ってもらうため、イラストを用いて分かりやすく紹介する「大田区議会ガイドブック」を発行しています。ホームページからもご覧いただけます。

簡単アクセス!



## 大田区議会ホームページのご案内

議会の新着情報や議員名簿、会議日程などをお知らせしています。ぜひご活用ください。



簡単アクセス!



\ 詳細は /

大田区議会 🔍

## 議員の退職・会派の変更がありました（令和7年6月13日）

### 議員の退職

自由民主党大田区議団・無所属の会（略称：自民・無所属）

湯本 良太郎

つばさ大田区議団（略称：つばさ）

おぎの 稔

### 所属議員の変更

自由民主党大田区議団・無所属の会（略称：自民・無所属）

松原 秀典      鈴木 隆之      中坪 悦子  
高瀬 三徳      伊佐治 剛      北村 やよい  
大森 昭彦      馬橋 やすと き      天坂 大介  
しおの目まさき      えびさわ 圭介      柿島 耕平  
押見 隆太      高山 雄一

つばさ大田区議団（略称：つばさ）

犬伏 秀一      鈴木 ひろこ  
松原 元  
須藤 英児  
伊藤 つばさ  
清水 ちこ

## 委員会の委員に変更がありました（令和7年6月16日）

◎：委員長 ○：副委員長

### 議会運営委員会

◎伊佐治 剛      高山 雄一      鈴木 ゆみ      松原 元  
○大橋 たけし      天坂 大介      佐藤 伸      津田 智紀      ※高瀬三徳委員が委員を辞任しました。  
えびさわ 圭介      田村 英樹      犬伏 秀一

## 第3回定例会の予定

9月12日(金)～10月10日(金)

○請願・陳情の締切り 9月2日(火)

※会議の日時などは、定例会開催前の議会運営委員会で決定します。詳細は、ホームページでご覧いただくか、議会事務局までお問合せください。



今号は、令和7年7月1日時点の会派・議員の情報をもとに作成しています。

No.268 令和7年8月10日 おおた区議会だより 令和7年 第2回定例会号

発行:大田区議会 〒144-8621 大田区蒲田五丁目13番14号 電話:03-5744-1474(直通) FAX:03-5744-1541

<https://www.city.ota.tokyo.jp/gikai/>

大田区議会 🔍

